

## 第5回のまとめ

# 装置ワークショップと 天文学に関する技術シンポとの連携

秋山 正幸  
(東北大学)



TOHOKU  
UNIVERSITY

# ようこそ仙台へ

河北新報  
ONLINE NEWS

東北ニュース

全国・海外ニュース

スポーツ

震災・防災

トップ > 東北ニュース > 記事

宮城のニュース

宮城 社会

サイト

記事多印刷

## <仙台東西線> 市民の期待乗せ 一番列車

東と西、海と山が1本の鉄軌道で結ばれた。仙台市の地下鉄で2路線目となる東西線が6日開業し、杜の都のまちづくりが新時代に入った。前日の試乗会では原因不明のシステムトラブルが発生。不安も抱えながら市民や関係者が門出を祝った。

東の起点の荒井駅（若林区）では始発前の午前5時、約400人が列を作った。先頭にいた奈良県の会社員西田浩志さん（43）は「前日に沿線の下見をして準備は完璧。一日中、乗り降りしたい」と高揚した様子。一番列車の運転士松浦美穂さん（25）の妹梨紗さん（23）＝泉区＝も「姉が運転する始発にぜひ乗りたい」と列に並んだ。

満員の一番列車は定刻の午前5時35分に出発した。6時すぎには西の起点の八木山動物公園駅（太白区）を出発した一番列車が到着。降り立った太白区の主婦佐々木富美子さん（65）は「荒井は遠い所とのイメージだったが、あっという間。中心部への買い物も便利になる」と喜んだ。



一番列車を見送る出発セレモニーの参加者＝6日午前5時35分ごろ、仙台市若林区の荒井駅

拡大写真

# 合同開催時の主旨

- 天文台の技術系職員(電波・可視赤外・太陽)を中心に開催されている技術シンポと合同で開催し、情報共有を図る。
  - 前回までの国立天文台研究集会の公募でのコメントなどで、技術シンポとの連携についてコメントや希望が示されていた。
- 東北大での開催で、東北大での開発関連の活動を幅広く講演してもらう。

# プログラム

- 第1日、第2日：装置ワークショップ
  - 可視赤外線装置開発プロジェクトの現状と課題
  - 光学素子・機械素子の最先端
- 第3日：技術シンポとの合同セッション「次世代望遠鏡」
  - 東北大(天文・地球物理・物理・工学)での開発の紹介：市川・坂野井・羽根
  - 天文台での開発の紹介：山下・麻生・藤井  
を中心として招待講演で構成した。
- 第4日、第5日：技術シンポ
  - エクスカーションとして東北大・ナノメカニクス専攻・光 MEMS 研究室(羽根教授)の見学

# 今後に向けて (I)

- 開催後に反省会を行い、また参加者へのアンケートを行った。以下はそれを踏まえたコメント。
- 合同セッションの評判は良かった。
- 5日間開催は長かった。合同開催とするなら完全に混ぜた方が良かった。
- 何年かに一度は合同で開催することは意義があるという評価だった。
- 開催時期については (1)院生のまとめの時期 (2)天文台のプロジェクトウィーク (3) 技術シンポの開催時期 などの調整が必要だった。

## 今後に向けて (II)

- 以下は私見。
- 当時に比べると、TMT関連など先端技術センターでの光赤外の開発の比重が大きくなっている(ように見える)。
- 技術系職員の人にも世話人に加わってもらえると良い(岡田さんに加えてさらに)。
- 国立天文台共同開発研究の報告(の中で可視赤外分野の提案)との何らかの連携ができると良い。(その意味で定期的な開催に対して研究集会の枠組みから補助してほしい。)